

平成22年度 第2回 札幌市環境プラザ事業検討部会

概 要

- ◆ 日 時 平成23年 1月14日(金) 19:00~21:00
- ◆ 会 場 札幌エルプラザ公共施設 会議室1・2(2階)
- ◆ 出席者 **【委員】**
今 委員、新保委員、桧山委員、内山委員、森山委員
白崎委員、藤田委員、成田委員、鈴木委員、本富委員
【札幌市】
札幌市環境局環境都市推進部環境計画課長、環境教育担当係長
【事務局】
財団法人札幌市青少年女性活動協会札幌市エルプラザ公共4施設館長
課長、環境主査、市民活動主査、指導員
【傍聴】
なし

◆ 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 札幌市環境局環境都市推進部環境都市推進課長あいさつ
- (3) 議 事
 - ・平成23年度札幌市環境プラザ事業計画に向けて
 - ・札幌市環境プラザホームページ(キッズページ)のリニューアルについて
- (4) 財団法人札幌市青少年女性活動協会エルプラザ公共4施設館長あいさつ
- (5) 閉会

◆ 議事の概要

【報告】平成22年度札幌市環境プラザ事業実施状況について

【討議】平成23年度札幌市環境プラザ事業計画に向けて

① 環境教育の推進

《評価》

- ・わくエコ広場で、環境のことを直接話すよりも、子どもたちが人形劇が見たいという気持ちの中で活動するのはいい手法。
- ・事業の中身が大変充実してきている。ビデオなどの実践報告を考えていただきたい。

《意見》

- ・リーダー・アドバイザー制度を知らない先生が多い。もっと知ってもらうことが必要。
- ・環境教育リーダーはどうあるべきか、スキルアップを図り、情報交換の場がもっと必要。
- ・夏休みや冬休みに環境リーダーによる子ども向け相談コーナーを設けてはどうか。

② 普及・啓発

《評価》

- ・アウトリーチに取り組み出前事業をされていると言うのは非常に素晴らしい。
- ・林心平さんの講演会シリーズは素晴らしい。PRの方法にもう一工夫が必要。

- ・事業の定員100%に達している事業が少ない。

《意見》

- ・環境教育で子どもたちに見せたいものは、本物。実物とか具体的な物とか現地をつなぐ役割を持つと利用が広がるのでは。
- ・環境の専門的なことも大事だが、浅く広くという形で大きなイベントを行い、たくさんの人を集める手法も良いのではないか。
- ・中間支援団体との情報交換会をやって欲しい。普及の大きな1つになるという気がする。
- ・札幌市教育センター研修の中で環境団体の取り組みや内容を紹介する場面があるとよい。

③ 情報の受発信基地

《評価》

- ・他施設との連携はすごく良い。環境関連12施設の情報がほしい。

《意見》

- ・環境に配慮した企業との連携を深め施設見学や工場見学の情報を発信することで、教育支援の場としての役割を果たすことができる。
- ・多くの環境団体や企業が取り組んでいる環境活動の情報をポータルサイトの的に集約が発展的に行われ、学校、企業、市民との連携がダイナミックに広がる方法が良い。プラザ機能の総合力が高まる。
- ・環境プラザのホームページの情報や貸出キットを、何年生のどの単元で使える、と言う表があると連携を取りやすい。そういう構想があるので、協力してほしい。
- ・情報センターの活用がすごく大事。ここにしかないもの、専門性に関わるものは特に大事にしてほしい。自治体図書館とは違う役割がある。そのことをきちんと考える議論を活発にした方がいい。
- ・学生さんから環境教育のチャンスとか、ボランティア活動に参加したいが、情報がわからないという声がある。「えこぼろ」を身近な生協などにおいてほしい。

④ コーディネート事業

《意見》

- ・北海道エネルギー環境教育研究委員会など先生方の研究会にお邪魔させてもらって、プラザのできることを伝えることが効果的。
- ・環境をビジネスチャンスととらえる中小企業が多い。札幌駅には大手電気店などもあり、そういったところと連携してはどうか。
- ・温暖化などのひとつのテーマで、さけ科学館から見た温暖化、リサイクルプラザから見た温暖化、などの企画をやってみると面白いのでは。

⑤ 施設・設備の提供

《評価》

- ・環境プラザがサタデーテーリングの会場になることは、どの学校の子もここに来るチャンスが広がる。素晴らしい発想。
- ・環境プラザ貸出教材の一覧チラシを学校で見たときすごくありがたかった。

《意見》

- ・施設見学の数が少ない。環境教育に興味を持っている先生は結構いるが、実際に色々な機関との連携には壁がある
- ・施設見学はなかなか来られないところもある。近隣の学校から広げていけば、利用される価値が出てくる。

【意見集約】札幌市環境プラザホームページ（キッズページ）のリニューアルについて

① 環境プラザ素案「子どもの環境活動紹介ページ」「市内小中学校との連携ページ」に対する意見

- ・石炭、石油、天然ガス、ウランがどのように使われ、自分達の生活とどう関わっているのかをきちんと伝えられるページがあると良い。
- ・市内各学校でのユニークな活動事例や報告会の企画が欲しい。
- ・活動の素材をさがし、取材することが大変かと思います。教育委員会も協力があると良い。できるだけ早く情報を入手できるような手立てをとる必要あり。
- ・トピックとしてその学校オリジナルな授業を見出し、クローズアップしアピールする。ユニークな推進は大きな推進力となる。
- ・紹介シリーズの中で小中学生からの授業等での感想コメントと写真(個人)を紹介したい。
- ・半期6ヶ月か年1回、該当の小中学生、教師との合同発表会(環境プラザでの開催)は是非開催し、ホームページ紹介をしたいこと。
- ・札幌の小中学校の情報が載っているページであれば、地域性が出てきますし、札幌から発信する意味が出てきます。
- ・環境プラザが札幌市の学校とつながり、また、環境関連の企業や団体とつながっていると良い。
- ・札幌市教育委員会のHPに載る予定の各学校のエコ宣伝とリンクすると良いと思います。何らかの形で有機的なつながりをもてるものになるとおもしろい。
- ・札幌市博物館活動センターや札幌市青少年科学館等で行っている小中学生向けのイベントを紹介し、環境プラザと連携して取り組めると良い。
- ・札幌市環境局や教育委員会のHPなどは、かたい感じがするのですが、そうではなく気軽に環境にふれられるようなものになると良い。

② 新キッズページへの提案

- ・子どもが身近な問題を見つけたり、日常生活を見直したりする中で、自然と環境問題にアプローチしていくというストーリーがとてもわかりやすいです。(現ページ)
- ・社会参画の芽、公民的資質、道徳性が育まれる内容です。(現ページ)
- ・子どもにとっても使いやすく、見やすい画面構成となっていました。(現ページ)
- ・本でいえば索引ページのようなものを作る。
- ・やはり、クイズや環境をからめたご当地検定があったら楽しい。
- ・キャラクターが何人かいるのがよい。自分はどのキャラクターに近いか、と思いながら見ることが出来るから。
- ・より子ども達の身近なものにしてほしい。(札幌市に特にこだわったページへ)
- ・他の地域や国と比べるのも大事。
- ・環境関連の情報を網羅する必要はない。しかし、そのためのツールを示しておくことには意義がある。例えば、環境について詳しく載っているHPのリンクを貼ることや、PDF資料を載せ、必要に応じて見る人が覗くことができるようになってくると良い。
- ・環境プラザが主催したイベントについて、その活動状況がわかるようなページがあると良い。

以上